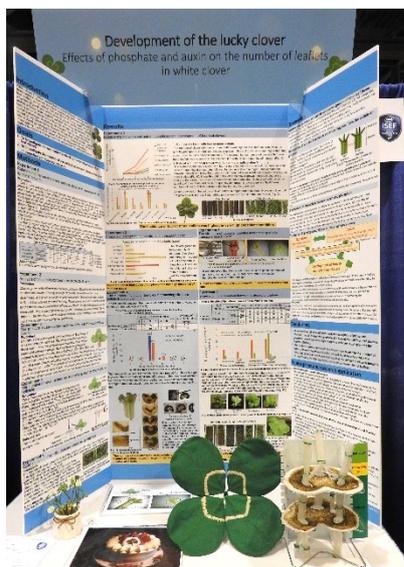


高校3年生の森みのりさんが、5月12日～17日にアメリカアリゾナ州フェニックスで開催された intel ISEF（インテル国際学生科学技術フェア）に日本代表として参加し、自らの科学研究の発表を行いました。森さんは高校2年生のときに個人課題研究で「四つ葉のクローバーを発生させる条件とは」というテーマで研究を進め、土壌から水や養分を吸収する維管束に着目し、それぞれの葉に維管束が分岐する仕組みを顕微鏡などを用いて検証しました。また、植物の成長を促進するホルモンを与えることで、五つ葉や八つ葉の形成につながることも明らかにしました。これらの研究成果が高く評価され、国内のJSEC（高校生科学技術チャレンジ）において科学技術振興機構賞を受賞したことで ISEF への参加が決まりました。

研究内容は現地の Science News というメディアでも取り上げられ、記事が掲載されています。世界70以上の国や地域から集まった、高校生約1700人が1400以上の研究発表を行うコンテストに出場した経験は、森さんにとって大きな財産になりました。



ポスターブースの様子。ポスターパネルとクローバー、維管束の模型を展示しました。



一般公開の様子。英語でプレゼンテーションを行いました。